

## 令和4年11月 文書質問及び回答

1 質問者 中田豪之助議員

2 質問事項 下川町のインフラにおけるサイバー攻撃対策について

質問の内容・要旨	回答
<p>10月3日付日本経済新聞によると水道や電力など日本の社会インフラのうち877箇所でサイバー攻撃の被害に遭うリスクが高いことが同社の調査でわかった。攻撃により外部から排水ポンプを止めて水害のリスクを上げたり、再生可能エネルギー施設の警報を切ったりできる、可能性がある。</p> <p>また、10月31日付NHKの報道によれば大阪 住吉区の大坂急性期・総合医療センターは「ランサムウェア」と呼ばれる身代金要求型のウイルスによるサイバー攻撃を受け、電子カルテのシステムに障害が発生し、緊急以外の手術や外来診療などを停止していると発表しました。復旧のめどは立っておらず、11月1日以降もこの状況が続くとしている。病院のサーバーには「すべてのファイルを暗号化した。復元のためにはビットコインで支払え。金額はあなたがどれだけ早く、われわれにメールを送るかによって変わる」などという英文のメッセージが届いたという。</p> <p>下川町では、</p> <p>1 水道、電気、暖房、医療等の社会インフラにおいて、遠隔監視や外部のシステムと接続されている等、サイバー攻撃の可能性のある基幹システムには、どのようにものがあるか。</p> <p>2 上記の基幹システムをサイバー攻撃から守るために、どのように対策を講じているか。</p> <p>以上お伺いします。</p>	<p>1 水道施設におきましては、現在の浄水場では外部接続している回線はありません。現在建設中の浄水場では、外部接続による回線を使用する予定ですが、機械監視のみを行う予定で、遠隔操作の機能を持たないことから、セキュリティは確保されていると考えます。</p> <p>電気につきましては、町では特に制御する設備がありませんので、サイバー攻撃によって電気が通らなくなるということはありません。</p> <p>暖房につきましては、町で管理しているものとしては、バイオマスボイラーがありますが、外部接続している回線はありません。</p> <p>医療等につきましては、町立病院では外部接続がありますが、VPN接続による専用回線のため、セキュリティは確保されていると考えます。</p> <p>あけぼの園では、クラウド上で委託業者のサーバーとつながる外部接続がありますが、サーバーと接続する際にはIDやパスワードのほか、セキュリティ証明書の使用など複数の手続きが必要なことから、セキュリティは確保されていると考えます。</p> <p>山びこ学園では、外部接続はありません。</p> <p>2 各種インフラにおいては、一部外部接続のあるものについてはVPN接続などによりセキュリティ対策が確保されており、他の施設については、外部接続がありませんので、対策等は特にありません。</p>